

岡山県立勝間田高等学校第1回学校運営協議会 議事録

日時 令和2年7月3日(金) 13:30~16:00

場所 岡山県立勝間田高等学校記念館3階会議室

1 校長挨拶

勝間田高校は、今年度(令和2年)から、「岡山県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」に基づき、コミュニティ・スクールとして県の指定を受けた。

本校に「学校運営協議会」を設置することで、これまで以上に家庭や地域との連携・協働を円滑に行い、様々な立場の視点を学校運営に反映させることで、「地域や社会で活躍・貢献できる人材の育成」を推進していきたい。

2 出席者紹介(委員15名のうち、14名が出席)

3 岡山県立学校における学校運営協議会の設置について(副校長による説明)

4 岡山県立勝間田高等学校における運営協議会について(副校長による説明)

5 会長選出

水嶋委員(勝央町長)を会長とする。

6 会長挨拶

ここ数年は学校の取り組みの成果がでてきている。地域もだんだんと関わっていききたいという風土もある。そういったなかで、勝間田高校の存在は地域に少しずつは認められてきたところもあるが、まだまだ、PR不足のところがたくさんある。産業の基本は一次産業にある。この勝間田高校では、地域に根ざして活躍する、地域に貢献する、そういった子も増えている。勝間田高校の生徒たちには実際に農業の現場で学び、地域との連携がある。優秀な人はたくさんいる。いろいろなことを深く追求する人もいるが、自分が学んだこと以外の対応能力が低い。経験がない子供たちに多くのことを経験させる。多くの経験をした生徒が、なんらかの形に良い方向で地元に戻って来てくれることを期待している。

7 本校の現状と課題(校長による説明)

(1) 令和元年度の教育活動について

(2) 令和元年度学校評価書について

(3) 令和2年度学校経営計画・教育課程の編成と組織・予算・学校評価書について

(4) 令和3年度以降について

8 質疑・応答、意見交換

●総合学科の新入生1年生の各コースの数について

●勝央町の特産品開発という視点で取り組んでいる内容

勝央町として特産品として力を入れたいものについて

●運営協議会として、自分たち(学校)がこういう課題があるということを教えてもらいたい。

我々(委員)が持っている専門性でどうやって解決できるのか。どのような提案ができるのか。

●(委員の)情報発信という得意分野を生かして、地域や勝間田高校の情報発信を、連携をしながらもっと広く大きなことしてみたい。

●(委員は)農業者として、農業の基礎を学んだ人を勝間田高校からたくさん輩出していただきたい。

●勝央町が掲げている「元気な町の総合戦略」改訂版、ここに掲げられている課題をしっかりと生徒が担い手として課題解決に取り組んでいく。それは自分たちのいるコースでこの町の活性化で何が

できるのか。そういったところをしっかりと落とし込んでいくような総合的な探究の時間を使って、考えさせるということをするのが一番早いのではないか。

- 昨年度、大学側から（勝間田高校へ）、教員を2人派遣した。食品の授業（課題研究発表）に参加した教員2人とも生徒の発表を聞いて最初から関わりたいという感想を持った。
- 勝間田高校をさらに魅力を高めてもらい、中学生が積極的な理由で選んでいける。そういう魅力作りにますます力を注いでもらいたい。
- スクールミーティングについて期待している。

9 その他

（1） 第2回学校運営協議会について

11月～12月上旬で調整

（2） その他

学校とオープンスクールの案内ポスターができたので、いろいろなところへ掲示していただきたい。